

様式第4のハ（第4条、第5条関係）

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

|             |        |         |            |              |           |
|-------------|--------|---------|------------|--------------|-----------|
| 事業の概要       |        | ①       |            |              |           |
| 貯蔵する危険物の概要② |        | 引火点     | ℃          | 貯蔵温度         | ℃         |
| 基礎、据付の方法の概要 |        | ③       |            |              |           |
| タンクの構造・設備   | 形状     | ④       |            | 常圧・加圧（⑤ kPa） |           |
|             | 寸法     | ⑥       |            | 容量           | ⑦         |
|             | 材質、板厚  | ⑧       |            |              |           |
|             | 通気管⑨   | 種別      | 数          | 内径又は作動圧      |           |
|             |        |         |            |              | mm<br>kPa |
|             | 安全装置⑩  | 種別      | 数          | 作動圧          |           |
|             |        |         |            |              | kPa       |
|             | 液量表示装置 | ⑪       |            | 引火防止装置       | ⑫ 有・無     |
| 不活性気体の封入設備  | ⑬      |         | タンクの保温材の概要 | ⑭            |           |
| 注入口の位置      |        | ⑮       |            | 注入口付近の接地電極   | ⑯ 有・無     |
| 防油堤         | 構造     | 造       |            | 容量           | 排水設備      |
|             | ⑰      |         |            |              |           |
| ポンプ設備の概要    |        | ⑱       |            |              |           |
| 避雷設備        |        | ⑲       |            |              |           |
| 配管          |        | ⑳       |            |              |           |
| 消火設備        |        | ㉑       | タンクの加熱設備   |              | ㉒         |
| 工事請負者住所氏名   |        | ㉓<br>電話 |            |              |           |

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

## 【屋外タンク貯蔵所構造設備明細書記載要領】

根拠条文：省令第4条、第5条

- ①「事業の概要」の欄は、事業の内容について具体的に記入する。
- ②「貯蔵する危険物の概要」の欄中、「引火点」の欄は、中仕切りタンクの場合、最も低い引火点を記入し、「貯蔵温度」欄は、加熱設備等常温以外の状態で貯蔵する場合に記入する。
- ③「基礎、据付方法の概要」の欄は、「○mP C杭を○○本を打設し、その上に厚さ○mの鉄筋コンクリート基礎を設ける。タンク下部は、アスファルトモルタルを敷設する。」等と記入する。
- ④「形状」の欄は、形状及び屋根形状を「縦置円筒型」「横置円筒型（中仕切り）」等と記入する。
- ⑤「常圧・加圧の別」の欄は、該当するものに○をつけ、「加圧」の場合は、その圧力を記入する。
- ⑥「寸法」の欄は、内径、高さ、側板高さ、胴長、鏡出等を記入する。
- ⑦「容量」の欄は、当該タンクの最大許可容量を記入する。
- ⑧「材質、板厚」の欄は、縦置円筒型の場合、「屋根板○○mmSS400、側板1段目○○mmSS400、2段目○○mmSS400、3段目○○mmSS400、底板○○mmSS400等」と記入し、横置円筒型の場合は、胴板、鏡出について、角形の場合は、屋根板、側板、底板について材質、板厚を記入する。
- ⑨「通気管」の欄中、「種別」は無弁通気管又は大気弁付通気管の別、「数」はタンクに設けられる数、「内径又は作動圧」は無弁通気管にあっては内径、大気弁付通気管にあっては内径及び作動圧をそれぞれ記入する。
- ⑩「安全装置」の欄は、圧力タンクに該当するタンクについて記入するものとし、「種別」は危険物の規制に関する規則第19条第1項各号に掲げる種別、「作動圧」は「○○kPa」等と記入する。
- ⑪「液量表示装置」の欄は、例えば「浮子方式による液面指示計」等と記入する。
- ⑫「引火防止装置」の欄は、「有」・「無」のいずれかに○をつける。
- ⑬「不活性気体の封入設備」の欄は、設備等の概要を記入する。
- ⑭「タンク保温材の概要」の欄は、タンク外面に保温材が使用されている場合に、その材質、固定方法等を記入する。
- ⑮「注入口の位置」の欄は、注入口の設置場所を記入する。
- ⑯「注入口付近の接地電極」の欄は「有」・「無」のいずれかに○をつける。
- ⑰「防油堤」の欄中、「構造」は、「鉄筋コンクリート造（高さ○○mm、厚さ○○mm）」等と、「容量」は「○○L」と、「排水設備」は、「集水枳○基を防油堤内に設け、これより金属管により排水。堤外吐出口付近に遮断弁を設置」等とそれぞれ記入する。
- ⑱「ポンプ設備の概要」の欄は、ポンプ種類、基数、防爆構造、ポンプ室の場合は建物構造等を記入する。
- ⑲「避雷設備」の欄は、JISA4201によるとともに、その概要を記入する。なお、当該製造所等が他の施設の避雷設備の保護角内にあるため、避雷設備を設置しない場合は、他の施設の避雷設備の区分及びかっこ書きで他の施設の名称等を記入する。
- ⑳「配管」の欄は、危険物配管の材質を記入する。なお、JIS記号の記入でも認められる。また、当該配管が地下埋設配管の場合は、配管外面の保護方法も記入する。
- ㉑「消火設備」の欄は、危険物の規制に関する政令別表第5の消火設備の区分のうち、設置したものを記入する。
- ㉒「タンクの加熱設備」の欄は、タンクに設置する加熱設備の概要及び加熱媒体を記入する。
- ㉓「工事請負者住所氏名」の欄は、設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入する。